



ヘルプ



MX RPi Openbox Remix

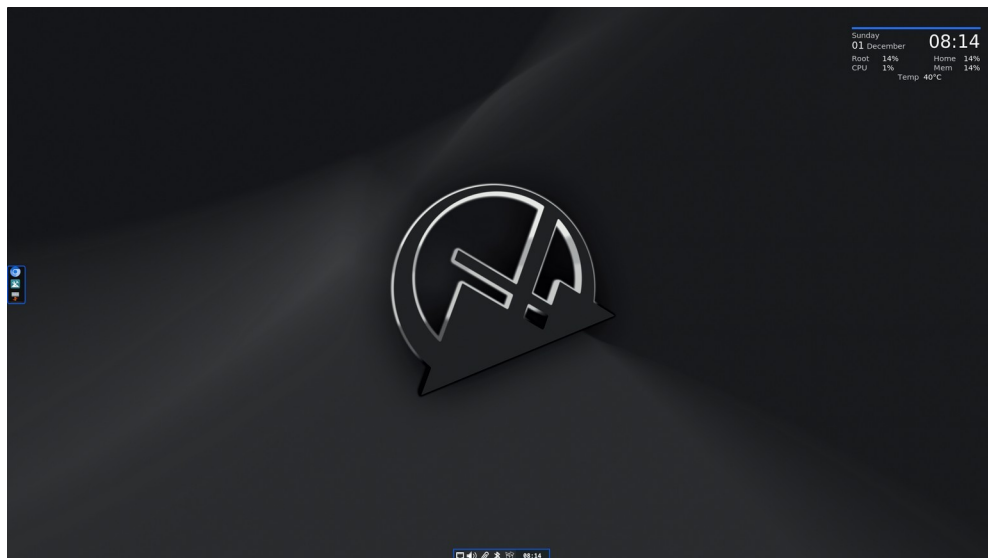
デフォルトユーザー: **mxob**

デフォルトパスワード: **mxob**

この**非公式**MX-23 OpenBox Respinは、Debian 12 (Bookworm) ベースのMX-23 Official Raspberry Pi Respin、[Openbox](#)、FluxboxバージョンのMX Linux用に開発された様々なアプリを統合したものです。

このOSでは、ディスプレイサーバーとしてXorgが必要です (=デフォルト)。

Waylandでは動作しません。



デフォルトのデスクトップ

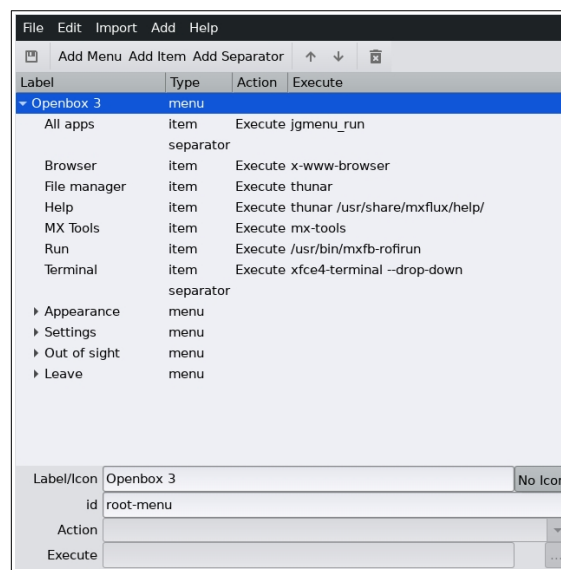
- 左中央: ドック (色合い2)
- 右上: デスクトップシステム情報 (コンキー)

- 中央下: システムトレイ (*stalonetray*) と時計 (*tdc*) のある通知領域

開始: デスクトップ上の任意の場所で右クリックし、ルートメニュー（以下「**メニュー**」）にアクセスします。

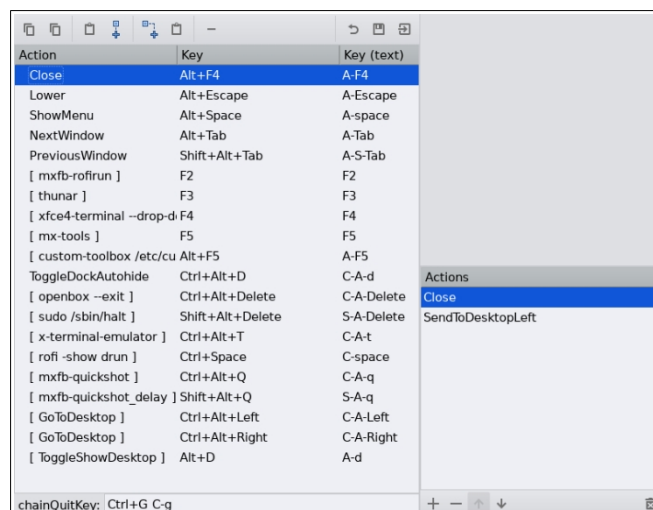
openboxの基本設定 (~/.config/openbox/)

- **オートスタート**: セッションの開始時に開始されるプログラムは、このフラットファイルに一覧表示されます。このフラットファイルは、**メニュー > 設定 > オートスタート**をクリックすることで、簡単に理解でき、直接編集できます。
- **menu.xml**: ユーザーが選択したアプリケーションのこの静的メニューは、**メニュー > 設定 > メニュー > デスクトップメニュー** (obmenu2) で便利に管理できます。その他のメニューについては以下を参照してください。



menu.xmlを開いたメニューエディター

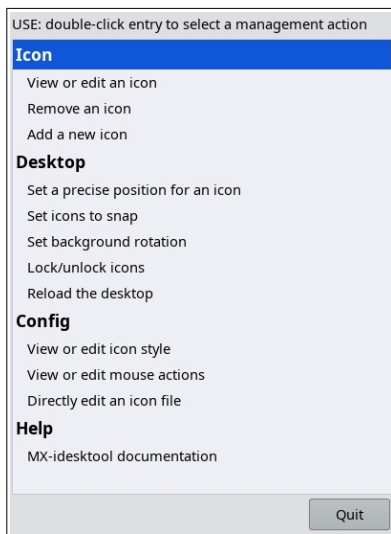
- **rc.xml**: Openboxの設定と動作のメイン設定ファイルです。**メニュー > 設定 > キー** (obkey) で簡単に管理できるキー (別名ショートカット、キーバインド) も含まれています。



すぐに使える鍵管理ツール

デスクトップのアイコン

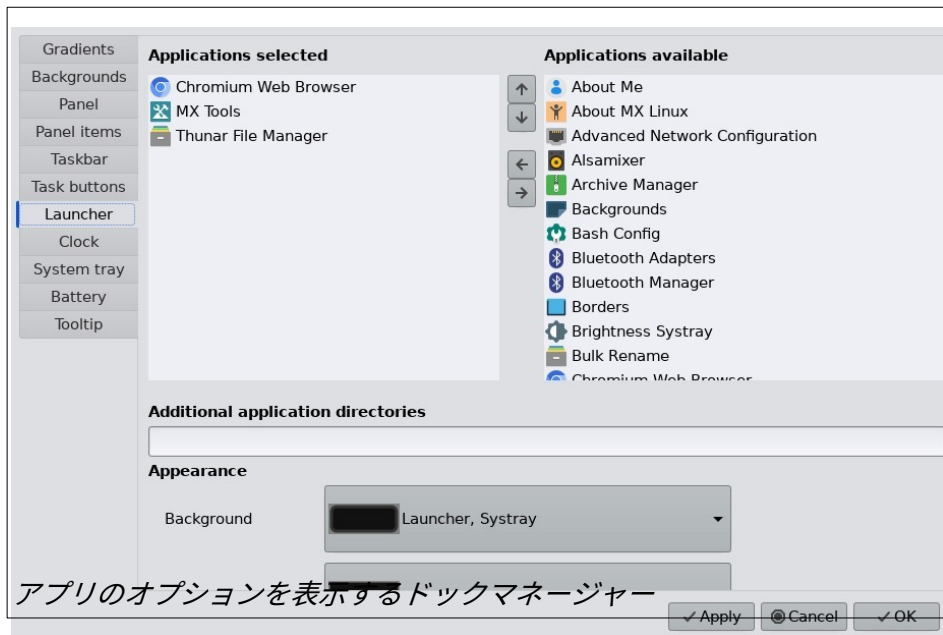
デスクトップアイコンは*iDesktool*で設定・管理することができます。iDesktoolはMX Linuxの開発者とユーザーによって、以前のアプリを改良・近代化したツールです：**メニュー > 外観 > デスクトップアイコン**。このツールは、Openboxのようなウィンドウマネージャでのデスクトップアイコンの使用を非常に容易にします。このツールは非常に簡単で、ほとんど疑問は生じず、[詳細なヘルプ](#)ファイルでサポートされています。



*iDesktool*のメイン画面

ドック

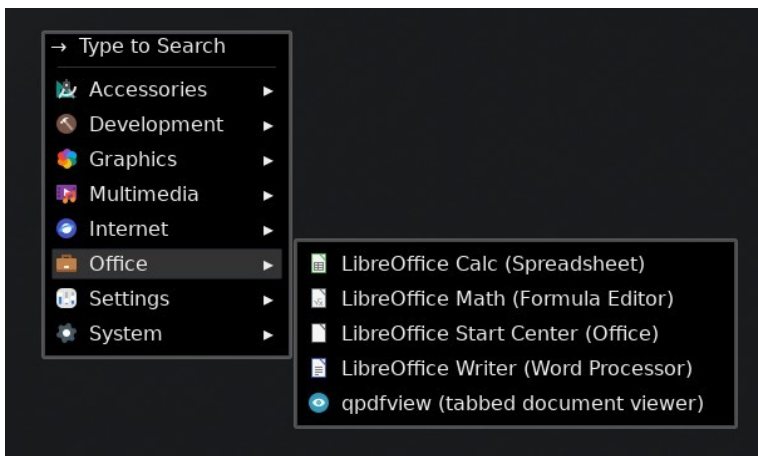
デフォルトのドックは[tint2](#)が提供する。設定**メニュー > 設定 > ドック**。Config "ボタンを押して、グラフィカルエディタを開きます。basic-dock-tint2rcをクリックし、左の列の "Launcher "をクリックします。中央の列の矢印を使用して、選択したアプリケーションを追加、削除、再配置します。



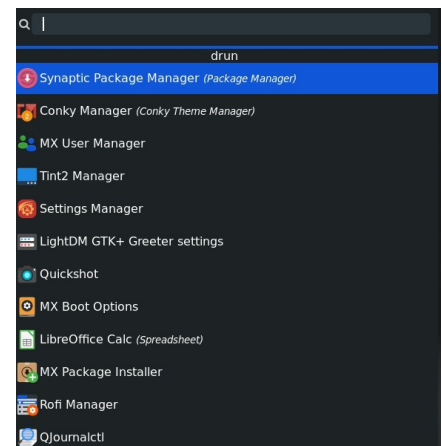
メニュー

スタティック・メニューの他に、ユーザーの好みに合わせて2つのメニューが用意されている：

- **すべてのアプリ** (*jgmenu*) は、静的なルートメニューの一番上のエントリで、カテゴリ別に整理されたインストール済みのアプリケーションに簡単にアクセスできます。アプリを直接見つけるには、一番上の検索ボックス（「検索」という文字が表示されたまま）をクリックし、名前または説明的な用語を入力します。設定：**メニュー** > **設定** > **メニュー** > **すべてのアプリ** (*jgmenu_run*)。詳細は[jgmenu概要](#)で。
- **Rofi**には、**Ctrl + Space**キーでアクセスできる：*Ctrl + Space*。他の機能もあるが、ここでは主にアプリランチャーとして使う。アルファベット順に表示されますが、よく使うアプリはリストの一番上に表示されます。設定：**メニュー** > **設定** > **メニュー** > **Rofi** (*mx-rofi-manager*)。詳細は[MX Wiki](#)をご覧ください。



サブカテゴリーを表示した「すべてのアプリ」メニュー



Rofiメニュー (*dmenu*)

ローカライゼーション

- **静的メニュー**。デフォルトの静的メニューは、ユーザのロケールに適切なものが
`/usr/share/mxob/menu-translations`に存在する場合、[DeepLによって生成された](#)翻訳で配信されます。
。
- **すべてのアプリとRofiメニュー**。NameとCommentのローカライズは、`/usr/share/applications`にある個々のデスクトップファイルに依存します。

通知領域

通知領域の作成には、*stalonetray*と*tdc*の2つの独立したアプリが使用されます。これらは個別に非表示にしたり（メニュー＞Out of sight＞Notification area）、削除することもできます（Autostartから）。これらのアプリの設定は、メニュー＞設定＞通知領域をクリックして調整できます。

ヒント: 1) 時計を左クリックするとカレンダー（*gsimplecal*）が表示され、2回目のクリックまたはAlt + F4で閉じます。

構成

まず最初に

基本設定は、Raspberry Piの便利なアプリを使って変更することができます：**Menu > Settings > Raspberry Pi > Basic setup (rc_gui)**.

- ユーザーパスワードを変更します。高度な変更には**MX User Manager**を使用してください。
- 正しい時刻フォーマットを設定します。高度な変更には**MX日付と時刻**を使用してください。
- デスクトップのローカライズを設定します。高度な変更には、**MXシステムキーボード**または

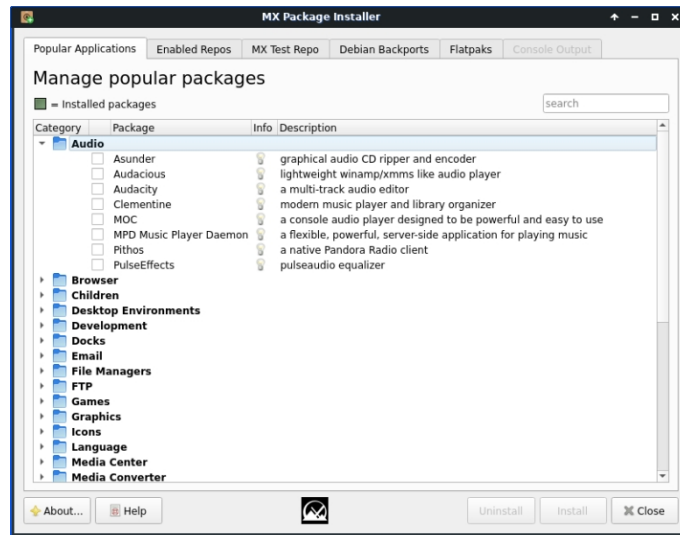
MXロケールを使用します。完了したらログアウトし、再度ログインしてください。

ソフトウェア

この非公式MX-23 Openbox Respinは、基本的なアプリがインストールされた状態で出荷されますが、メールクライアント、お気に入りの音楽アプリ、ビデオプレーヤー、完全なオフィススイートなど、他のソフトウェアを追加するかどうかはユーザーの判断に委ねられます。便利な**MXパッケージインストーラー** > "Popular Applications" タブは、スピード、機能性、安全性の面で非常にお勧めです。Synapticを使えば、より詳細なパッケージ操作が可能です。

注意： パッケージの不具合やシステムの不安定化を避けるため、デフォルトのリポジトリ以外からのソフトウェアの追加には十分注意してください。

利用可能なパッケージのアップグレードは、システムトレイのワイヤーボックスが白から緑に変わり、デスクトップにビジュアル通知が表示されることで通知されます。ボックスを右クリックすると環境設定やオプションが表示・変更され、ボックスを左クリックするとアップグレードプロセスが開始されます。



オーディオデバイスが選択されたパッケージインストーラ

無線LAN

MXリナックスは、Wifiカードを自動検出するようにあらかじめ設定されており（Network Manager）、ほとんどの場合、システムトレイのアイコンをクリックして、必要なアクセスポイントを選択するだけです。

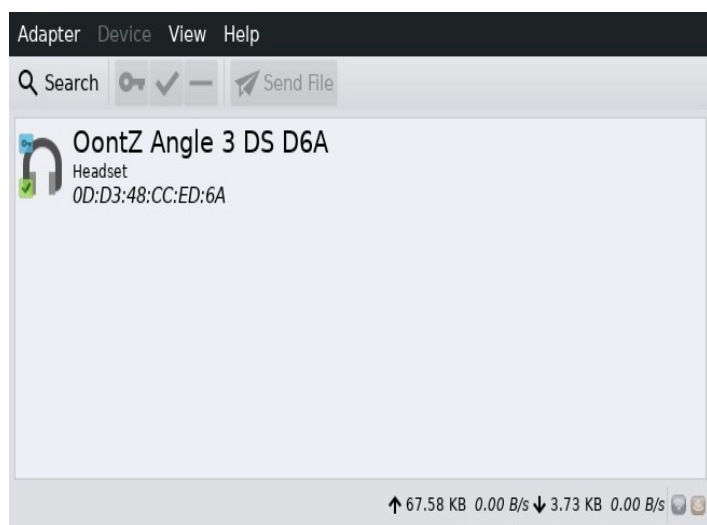
トラブルシューティング

- **MXネットワーク・アシスタント**は、ネットワークカードからウェブの問題まで、接続の問題を特定することができます。
- **高度なネットワーク**構成では、多くの接続の詳細にアクセスできます。

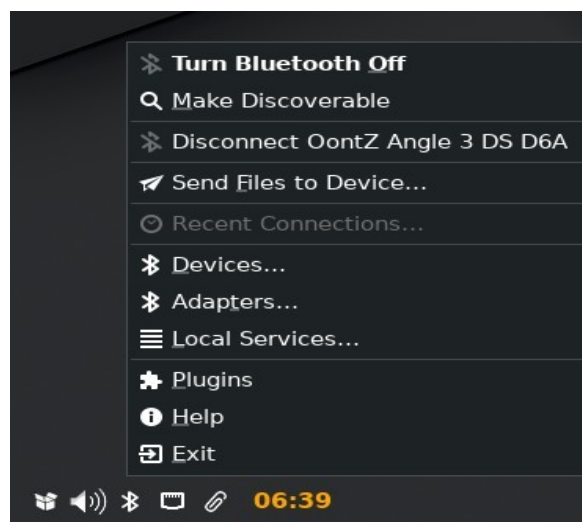
ブルートゥース

Bluetoothを有効にするには（内蔵または外付けのBluetoothアダプタがある場合）：

- 必要に応じて、デバイスを検出可能にする。
- システムトレイのアイコンを左クリックしてBluetooth Managerを起動します。
- 検索 "ボタンをクリックしてデバイスを検索します。
- デバイスのアイコンを右クリック＞ペアリング、またはボタンバーを使用します。
- もう一度右クリック＞信頼、またはボタンバーを使う。
- すぐに切断される場合は、アイコンを左クリックして再接続するか、Bluetooth Managerを使用するか、単にログアウトして再接続してください。それでもうまくいかない場合は、Bluetooth Managerでデバイスのアイコンを右クリック＞接続します。
- 次にログインする際、デバイスの電源がオンになると同時に自動的に接続されるはずです。そうでない場合は、システムトレイのアイコンを右クリックして、最近の接続を有効にしてください。



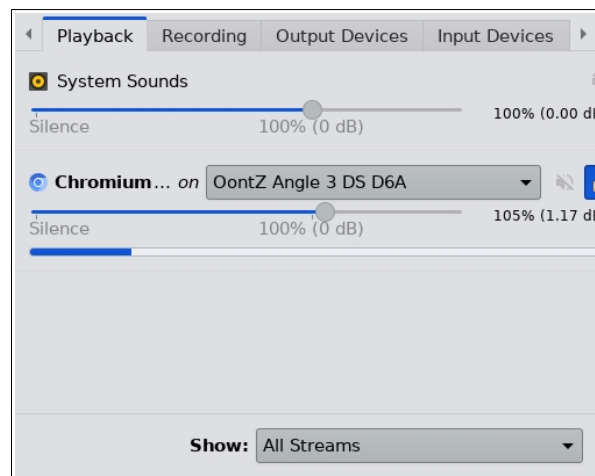
デバイスが見つかり、ペアリングされ、信頼されました。



シストレイアイコンの右クリックメニュー

サウンド

- スピーカー（またはヘッドフォン）の電源が入り、有効になっていることを確認します。
- システムトレイのスピーカーアイコンを左クリックし、プルダウンメニューを使用してスピーカーに変更します。
- ストリーミングサイト、audaciousのようなインストールされた音楽アプリ、または他のソースを再生してテストします。
- スピーカーのアイコンの上にカーソルを置いたまま、上下にスクロールして音量を調整します。
- また、スピーカーアイコンを右クリック > ミキサー (*pavucontrol*) を開き、再生タブをクリックし、プルダウンメニューを使って出力を変更する必要があるかもしれません（Chromiumを使用している場合など）。



ミキサーでの再生を変更する

スクリーン

設定。 Menu > Settings > Display (*raindrop*) を使用します。詳細は[Raspberry Piのドキュメント](#)を参照してください。

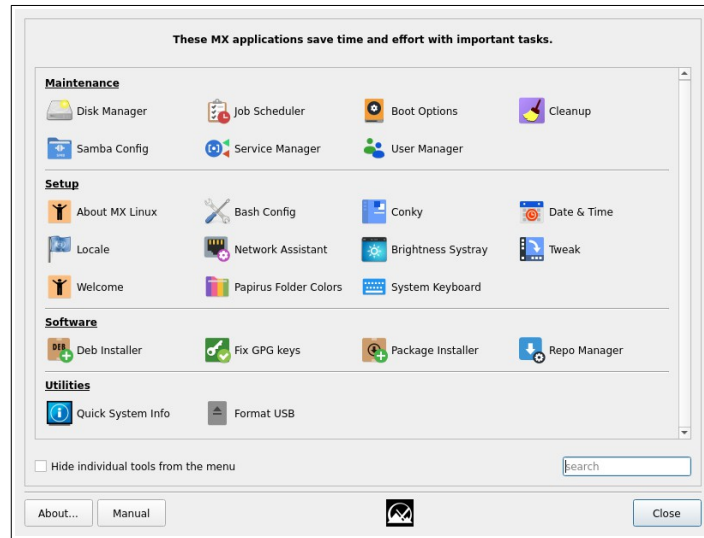
ブランキング。 Raspberry Pi Configでブランキングを設定してもテストではうまくいかなかったので、[xset](#). 画面が空白になるまでの非アクティブ秒数（デフォルト：600秒）を変更するには、**メニュー > 設定 > 自動起動**をクリックし、"*xset -dpms...*"で始まるエントリーを見つける。

即座にスクリーンを消すには、**F12**を押す。キーボード操作でスクリーンは元に戻る。

MXツールズ

MX Linuxが開発したこの特徴的なツール・コレクションには、**メニュー > MX Tools**から、またはF5キーで簡単にアクセスできます。ツールコレクションの説明と詳細については、**メニュー > ヘルプ > ユーザーマニュアル**（またはShift + F1）をクリックし、セクション3.2に進んでください。

ユーザーは、これらのユニークで役立つアプリを使いこなすことをお勧めする。



MXツールダッシュボード

その他

- 実行中のシステムはSD Card Copierというアプリでコピーできる。代わりに*.imgファイルを作成するために、RPIフォーラムのユーザーRonRによって[便利なツールセット](#)が開発されました。
- リソース
 - MX Openboxバージョン：MXフォーラムを利用し、MXプログラムに関する質問はユーザーマニュアル（Shift + F1）を参照してください。**ヒント**：MX Linuxの特徴的な機能に慣れるために、必ずMenu > MX ToolsとMenu > Settings Managerを起動してください。
 - オリジナルのOpenboxバージョン（3.7）：OpenBoxのホームページを参照してください。多くのリンクが壊れており、そこにリストされているアプリのいくつか（例えばobamenu）はもはや存在しないかインストールできないかもしれないことに注意してください。

V: 20241205